八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

こっこめ通信 10 2023

「いつからいたのか？」号

暑かった夏も終わりを告げ、だんだんと秋の草花が咲き始めました。公園内でも初秋に咲き始めるハチジョウシュスランやストレチア、ヒガンバナが開花し、日に日に色濃くなる秋の気配を感じる頃となりました。

さて、今回は「夏休み子供クラフト 海のモビールを作ろう」で作った本物そっくりのクラゲの作り方と、最近気がついた小さな小さな本当に小さなシジミチョウの仲間のお話です。(M.K.)

ビジターのクラゲ作りに挑戦！

夏休み子供クラフト「海のモビールを作ろう」で作ったペットボトルをアップサイクルしたクラゲたち。

ビジターセンターのインフォメーションカウンターには８体のクラゲたちがユラユラと涼しげに揺れています。

そんなクラゲたちを見て、作り方を聞かれることが続いたので、ペットボトルクラゲの作り方をご紹介します。

簡単なので、是非、作ってみてください。

※火の取り扱いには十分ご注意ください。　(M.K.)

＜用意するものクラゲ１体分＞

・炭酸のペットボトル１本　・ハサミ　・油性マジック　・定規　・穴あけ　・タコ糸又はテグス（長さはお好みで準備して下さい）・大きめのビーズ２本・ろうそくとキャンドルホルダーなどろうそくを立てておくもの

＜作り方＞

① ペットボトルに上から５センチ（使わない）、下から８センチ（頭）、胴部分に１センチ間隔で６枚分（触手）それぞれ線を引き、ハサミで切る。

② 触手パーツ上部に、穴を開けておく。底部分は、クラゲの傘になるので中央に穴を開ける。

③ ろうそくで触手パーツの両端を持ち、炙りながらひねって触手感を出していく。火傷注意！

④ 穴を開けた底部分は切った縁をアイロンに押し当て丸めておく。均一にならなくても OK。

⑤ タコ糸に触手を上の画像のように２本通して固結び、全部通して固結びの順で足部を作る。

⑥ ⑤の上部にビースを一つ通して固結び。

⑦ ペットボトルの底部分を返して、内側から⑥を通しもうひとつビーズを通して出来上がり。

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

発見！ホリイコシジミ

こっこめ通信 2023 年 8 月号で「八丈で出会った小さな蝶々」としてシジミチョウの仲間を紹介しましたが、その後、新たに「ホリイコシジミ　*Zizula hylax* (Fabricius, 1775)」が記録されましたので紹介します。

9 月中旬、以前ビジターセンターに勤務していた菊池健氏より、「ふるさと村のランタナにホリイコシジミがいるよ！」と連絡がありました。そのチョウを認識していなかったため、急いで図鑑等で調べ、確認に行くと、駐車場にあるランタナ（写真①）周辺でたくさんのホリイコシジミ（写真②）が飛んでいました。

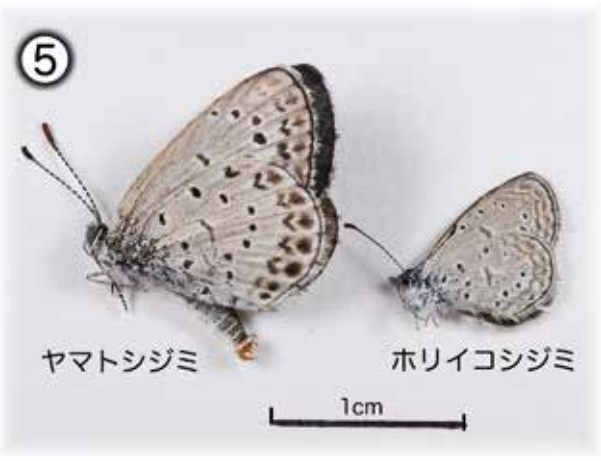
ホリイコシジミはランタナのつぼみにとまり、つぼみの根元に産卵もしていました（写真③）。他の花やつぼみを探すと終齢と思われる幼虫の姿も見られました。シジミチョウの仲間の幼虫は蜜を出し、アリに守ってもらう習性があります。この幼虫の周辺にもたくさんのアシジロヒラフシアリの姿がありました（写真④）。

ホリイコシジミは 1970 年代に小笠原や南西諸島で記録があり、現在では八重山で定着しているようです。**八丈島では今回が初記録**となります。島で普通に見られるヤマトシジミ（食草はカタバミ）と比べるとかなり小さなチョウであることが分かります（写真⑤）。

当初確認された大賀郷地区の大里にある“ふるさと村”以外の場所を調査したところ、大賀郷から三根にかけて、かなり広範囲のランタナに生息していることが分かりました。島ではランタナを育てている家はとても多く、新たに島外から持ち込むとは考えにくく、他の食草のヤナギバルイラソウは園芸種として 1997 年には導入されていると「八丈島の園芸植物」に記載がありました。となると、どのような経緯でこのチョウはやって来たのでしょうか？

2015 年に急に現れた同じシジミチョウの仲間のクロマダラソテツシジミは、その後、細々と確認されていますが、ホリイコシジミはどうなっていくでしょうか？引き続き観察を続けていきたいと思います。　（H.T.）

参考資料：
・フィールドガイド「日本のチョウ」誠文堂新光社
・長田庸平 (2023) 1988 年に宮古島で採集されたホリイコシジミ（鱗翅目シジミチョウ科）. Fauna Ryukyuana (67): 23-24.



八丈植物公園季節調査会の報告

今月の季節調査会は、６月の季節調査会に参加された方がいらしてくださいました。前回花盛りだった植物が実になっていたりと季節の移ろいを肌で感じていただけたと思います。園内では珍しいナンバンギセルやヒガンバナ、ハチジョウシュスランなど秋を感じさせる植物を観察しました。

今回はシダ植物１７種を含む、７８種の植物を観察しました。

八丈植物公園季節調査（2023 年度第６回９月１０日（日）天気：曇り、気温：28.7℃）調査者：吉岡、VC 木下

1	ヤブニッケイ	ヤブニッケイもち病菌痕跡のみ、葉の虫こぶ目立つ、若い実
2	タコノキ	葉、 気根の長さ：２３.５㎝、 太さ：１０㎝、雌木には若い実
3	オオタニワタリ	新芽２８本 (内１枚葉先が折れる)、最少丈１１８㎝、古葉、中央にスズミグモが巣を張る
4	ニオイウツギ	アブラムシの食害の葉が目立つ
5	ニオイバンマツリ	葉、花盛り
6	オオシマザクラ	葉は色が変わり始め、虫食いで穴が開く、枯れ枝目立つ（リンゴカミキリの食害か）

7	アオノクマタケラン	実	32	シマナガバヤブマオ	花	57	ムクゲ	花
8	アカメガシワ	花	33	ストレチア	花	58	メヒシバ	花
9	アベリア	花	34	センニンソウ	蕾	59	モッコク	実
10	アメリカスズメノヒエ	花	35	ソウシジュ	実	60	モンステラ	花と実
11	アロウカリア	種が散る	36	ソテツ	大胞子葉	61	ヤブツバキ	実
12	イワニガナ	花	37	ツルボ	花と実と蕾			
13	インドゴムノキ	花	38	トベラ	若い実		シダ植物	
14	ウスベニニガナ	花と実	39	ナガエコミカンソウ	花と実	1	イシカグマ	
15	ウリクサ	花	40	ナンバンギセル	花と蕾	2	ウチワゴケ	
16	オオキンバイザサ	花	41	ニガカシュウ	花とムカゴ	3	オニヤブソテツ	
17	オオムラサキシキブ	若い実	42	ノシラン	花	4	カニクサ	
18	オニドコロ	若い実	43	ハイビスカス	花	5	タチクラマゴケ	
19	ガクアジサイ	若い実	44	ハゼノキ	実	6	タチシノブ	
20	ガザニア	花	45	ハチジョウシュスラン	花	7	タマシダ	
21	ガジュマル	実	46	ヒガンバナ	花茎	8	ナチシケシダ	
22	カラムシソウ	花と蕾	47	ヒサカキ	実	9	ノキシノブ	
23	キツネノマゴ	花	48	ヒナギキョウ	花	10	ハチジョウカナワラビ	
24	クロツグ	実	49	ヒメムカシヨモギ	花	11	ハチジョウシダ	
25	クワズイモ	実	50	ヒメユズリハ	若い実	12	ヒトツバ	
26	コニシキソウ	花	51	ビロウ	若い実	13	ヘラシダ	
27	コミカンソウ	実	52	ブーゲンビリア	花	14	ホシダ	
28	サンタンカ	花	53	フジ	実	15	ホラシノブ	
29	シコンノボタン	花	54	フタバムグラ	花	16	マツバラン	胞子嚢目立つ
30	シマクサギ	花	55	ヘクソカズラ	花	17	マメヅタ	
31	シマスズメノヒエ	花	56	ポーチュラカ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、前のページでも紹介した「ヤマトシジミ」にスポットを当ててみたいと思います。

ヤマトシジミ　*Pseudozizeeria maha*

シジミチョウ科ヤマトシジミ属、日本での分布は青森県以南。暖かい地方では普通に見られる小型のチョウです。八丈島でも２月から 12 月頃までは観察できます。食草はカタバミ類で、葉に食痕（表皮を残して裏側から食べる）があれば直ぐに幼虫が見つかります。

北海道から九州の河口域や汽水域には、同じ和名の「ヤマトシジミ」というハマグリ目シジミ科の貝がいます。　（H.T.）

2023 10 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク 東京都文化財ウィーク企画事業「島の天然記念物を探そう！」 06:12 18:01 12:04	2 06:58 18:20 00:21 12:33	3 07:44 18:40 00:56 12:58	4 08:33 01:34 01:34 13:21	5 09:36 19:18 02:17 13:39	◑ 6 11:35 19:33 03:09 13:39	7 ガイドウォーク 18:37 04:22
寒露 8 ガイドウォーク 植物公園季節調査会 15:13 06:07 21:19	9 ガイドウォーク 00:11 15:25 07:38 21:17	10 01:58 15:40 08:35 21:33	11 02:54 15:55 09:16 21:52	12 03:36 16:11 09:49 22:13	13 04:14 16:28 10:19 22:36	14 ガイドウォーク 04:50 16:47 10:48 23:01
● 15 ガイドウォーク 05:26 17:07 11:16 23:27	16 06:02 17:27 11:44 23:56	17 06:39 17:49 12:11	18 07:19 18:10 00:27 12:39	19 08:05 18:33 01:02 13:06	20 09:03 18:58 01:43 13:36	21 ガイドウォーク 10:35 19:25 02:35 14:16
◐ 22 ガイドウォーク 12:58 20:07 03:47 16:17	23 14:08 23:28 05:30 19:53	霜降 24 14:43 07:11 20:35	25 01:38 15:12 08:20 21:08	26 02:51 15:38 09:11 21:41	27 03:48 16:02 09:53 22:14	28 ガイドウォーク 八丈学講座「秋の虫観察会」 04:38 16:26 10:31 22:47
○ 29 ガイドウォーク 05:25 16:49 11:05 23:21	30 06:10 17:12 11:36 23:55	31 06:53 17:36 12:05				この色の日はガイドウォークや特別行事があります

イベントプログラム

東京都文化財ウィーク企画事業「島の天然記念物を探そう！」	底土海岸周辺で天然記念物のオカヤドカリの仲間やアカコッコを探します。 10／1　（13：30～　約１時間半） だれでも（小学生以下保護者同伴）　底土海水浴場駐車場集合・解散　参加費：50円　定員：20名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 10／8　（13：30～　約１時間半） 中学生以上　ビジターセンター集合・解散　参加費：無料　定員：10名
八丈学講座「秋の虫観察会」	コオロギやキリギリスの仲間など、この時期ならではの虫を探して、島の秋を楽しみましょう！ 10／28　（13：30～　約１時間半） 中学生以上　いずみ親水公園駐車場集合・解散　参加費：50円　定員：10名
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日及び祝日、（10：30～約１時間）　だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散　無料　定員：10名

ビデオプログラム

10：00～　八丈・海・生きものたち
11：00～　おじゃりやれ 八丈島
14：00～　おじゃりやれ 八丈島
15：00～　おじゃりやれ 八丈島
16：00～　八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター　2023.10.1　第269号

開館時間　9：00～16：45　年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷２８４３
電話：04996-2-4811　Fax：04996-2-4888
E-mail：info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

ホリイコシジミの調査をしていて、まさかこんなに広範囲に確認されるとは思いませんでした。かなり前からいたのかもしれません。まさか自分の家のランタナにも幼虫が付いているとは…。これでシジミチョウ科のチョウは７種となりました（ビジター調べ）。（H.T.）